

2023年12月1日

関係各位

大阪中体連陸上競技部専門部
競技部

競技用靴に関する規程について

標記の件に関して、情報提供いたします。

すでにワールドアスレティックス（以下、WA）は、2022年1月1日にWA競技規則TR5改正と新たに「競技用靴に関する規程（C2.1A Athletic Shoe Regulations）」（以下、本規定）を導入しました。本規定については、靴底の最大の厚さ（購入時から装着されているオリジナルのインナーソールを含む）について、2024年10月31日までと、2024年11月1日以降では、規定が異なります。従来可能であった競技用靴であっても、2024年11月1日以降、最大の厚さを超える既存靴は承認されなくなり、対象競技会（公認競技会）では着用できなくなります。

つきましては、2024年11月1日以降も競技を継続する選手、また今後新たに競技を開始する選手に対してご指導・ご助言をお願いいたします。尚、下記には11月1日以降に懸念される事項、参考ページ、2枚目には**競技用靴・靴底厚さ表**を記載しています。ご活用ください。

【2024年11月1日以降に懸念される事項】

- ①陸上競技歴が浅い新入生・新入部員によるアップシューズを着用しての競技会出場の意向
→着用しての出場はできません。
- ②競技歴が長い選手が2024年11月1日以降も、それ以前から履き慣れている競技用靴を着用しての競技会出場の意向
→着用して出場できない場合があります。ただし、靴底の厚さが規定を超えていなければ可能。（長距離種目、三段跳の選手は特に注意して下さい）

【参考ページ】

競技用靴に関する規程（ルールブック）

<https://www.jaaf.or.jp/pdf/about/rule/2023/TR9.pdf>

競技用靴に関する規程（C2.1A Athletic Shoe Regulations）

<https://worldathletics.org/news/press-releases/new-athletic-shoe-regulations-approved-2022>

WA陸上競技用靴規程の運用について（2022.4.14）

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202205/11_142102.pdf

WA承認シューズリスト ※WAのページ

<https://worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information>

競技用靴・靴底厚さ表

2024年10月31日まで有効

種目	ソールの最大厚さ	その他の要件/注意
フィールド種目(除:三段跳)	20mm	省略
三段跳	25mm	
トラック種目(ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	
トラック種目(障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	
クロスカントリー	25mm	
道路競技(競走、競歩)	40mm	

2024年11月1日から有効

種目	ソールの最大厚さ (本規程 10.6 による)	その他の要件/注意
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	全跳躍種目で、本規程 10.3 および10.4 に記載のとおり、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない(前足の中心は、靴の内部の長さの75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の内部の長さの12%にある靴の中心点)。
道路競技(競走・競歩)	40mm	
クロスカントリー	20mmスパイク シューズ または 40mmノン・スパイク シューズ	競技者はスパイクシューズでもノン・スパイクシューズ(ロードシューズなど)を履くことができる。ノン・スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは40mmを超えてはならない。
マウンテンレース トレイルレース	制限なし	

重要告知：本規定5. 3に従い、2024年11月1日以降、靴底厚が上記の表に記載されている最大の厚さを超える既存靴は承認されなくなり、対象競技会では着用できなくなる。